

(4) 道路関係

静岡県東部・伊豆地域の発展を支える道路整備として、高規格幹線道路である伊豆縦貫自動車道(東駿河湾環状道路、河津下田道路(Ⅰ期)(Ⅱ期)、天城峠道路(月ヶ瀬～茅野))及び国道1号、138号、246号の改築及び維持管理並びにそれらに関する調査を行います。

令和6年度の主な事業内容

◆伊豆縦貫自動車道

国道1号 東駿河湾環状道路

○大場・函南IC～函南IC(仮称)(延長1.9km)

－関係機関協議を推進

国道414号 河津下田道路(Ⅰ期)

○下田北IC(仮称)～下田IC(仮称)(延長5.7km)

－関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、道路設計、橋梁設計、用地調査、用地買収、改良工を推進

国道414号 河津下田道路(Ⅱ期)

○河津逆川IC～下田北IC(仮称)(延長3.8km)

－関係機関協議、環境調査、水文調査、用地買収、改良工、橋梁上部工、トンネル工を推進

国道414号 天城峠道路(月ヶ瀬～茅野)

○月ヶ瀬IC～茅野IC(仮称)(延長5.7km)

－関係機関協議、地質調査、道路設計を推進

◆一般道路

国道1号 ^{ひがしするがわん} 東駿河湾環状道路（^{ぬまづおかのみや}沼津岡宮～^{あしたか}愛鷹）

○^{ぬまづおかのみや}沼津岡宮IC～^{あしたか}愛鷹IC（仮称）（延長2.6km）

－関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、用地調査、用地買収を推進

国道138号 ^{ごてんば} 御殿場バイパス（西区間）

○^{ごてんば}御殿場市中畑～^{ごてんば}御殿場市ぐみ沢（延長2.9km）

－関係機関協議を推進

国道246号 ^{すその} 裾野バイパス

○^{すんとう}駿東郡小山町生土～^{すんとう}駿東郡小山町上野（延長4.4km）

－用地調査、用地買収、関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、道路設計を推進

◆道路管理

静岡県東部地域の国道1号・138号・246号・414号の4路線、111.0kmを3出張所（沼津国道維持出張所：38.4km、御殿場国道維持出張所：46.9km、伊豆縦貫自動車道出張所：25.7km）で管理しています。

道路の維持管理

○道路パトロール、路面清掃、除草、除雪作業などを行います。

道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの実施

- ・道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
（橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、情報板など）
- ・自治体の職員が点検を適切に行えるようにするため、道路メンテナンス会議の中で橋梁点検研修を開催する等、自治体支援を行います。

道路の防災・震災対策

○南海トラフ巨大地震に備え、橋梁の耐震補強を推進します。

交通安全対策

○『静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～』等により、重点的かつ効果的に交通事故対策を推進します。

- ・国道1号山中新田地区事故対策事業
やまなかしんでん
- ・国道246号小山上野地区視距改良
おやまうえの

○歩行者や自転車が安全・安心に通行できる歩道空間を確保します。

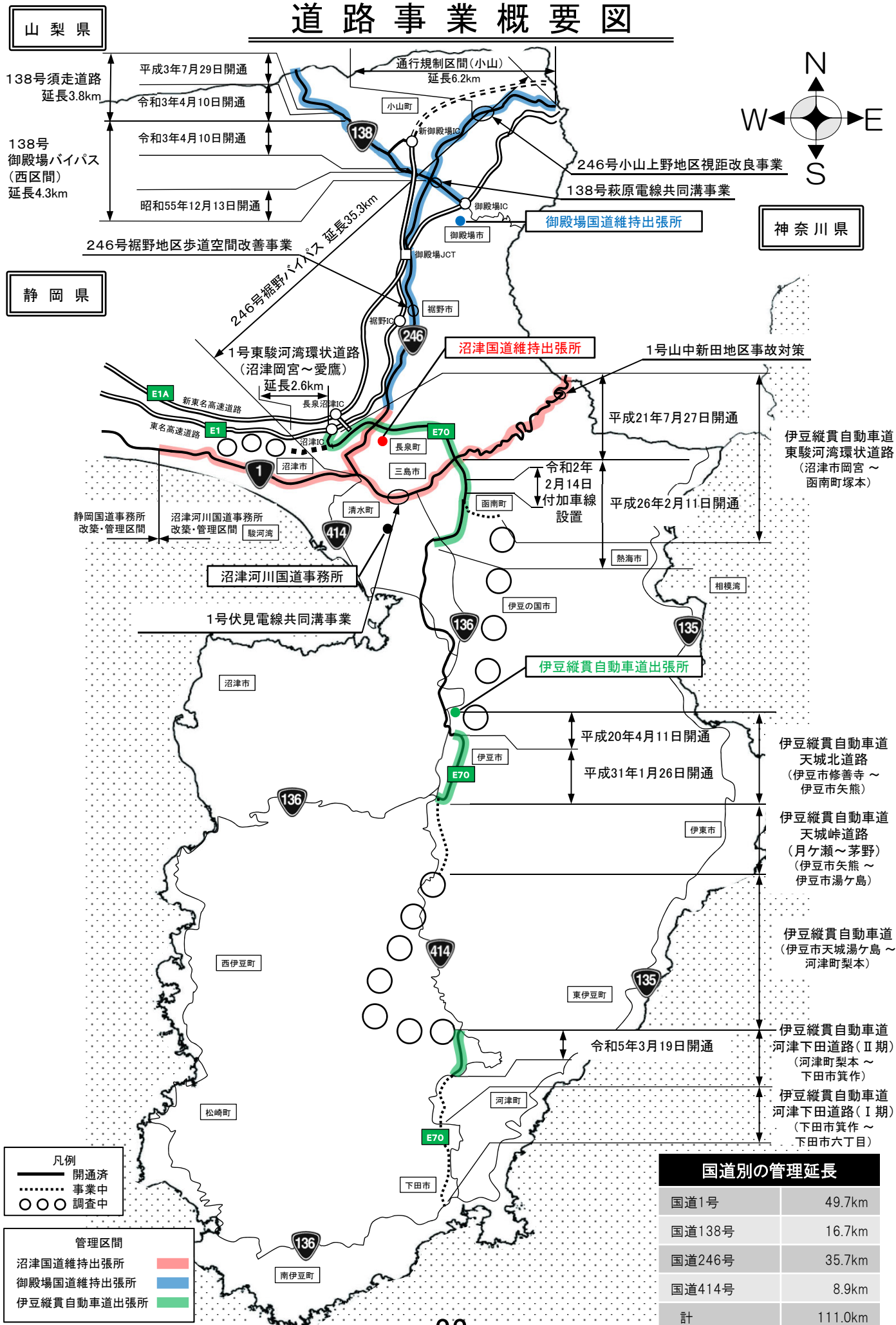
- ・国道246号裾野地区歩道空間改善事業
すその

○電線共同溝を整備し無電柱化することで、地震災害に強い道路を目指すとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。

- ・国道1号伏見電線共同溝
ふしみ
- ・国道138号萩原電線共同溝
はぎわら

○生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

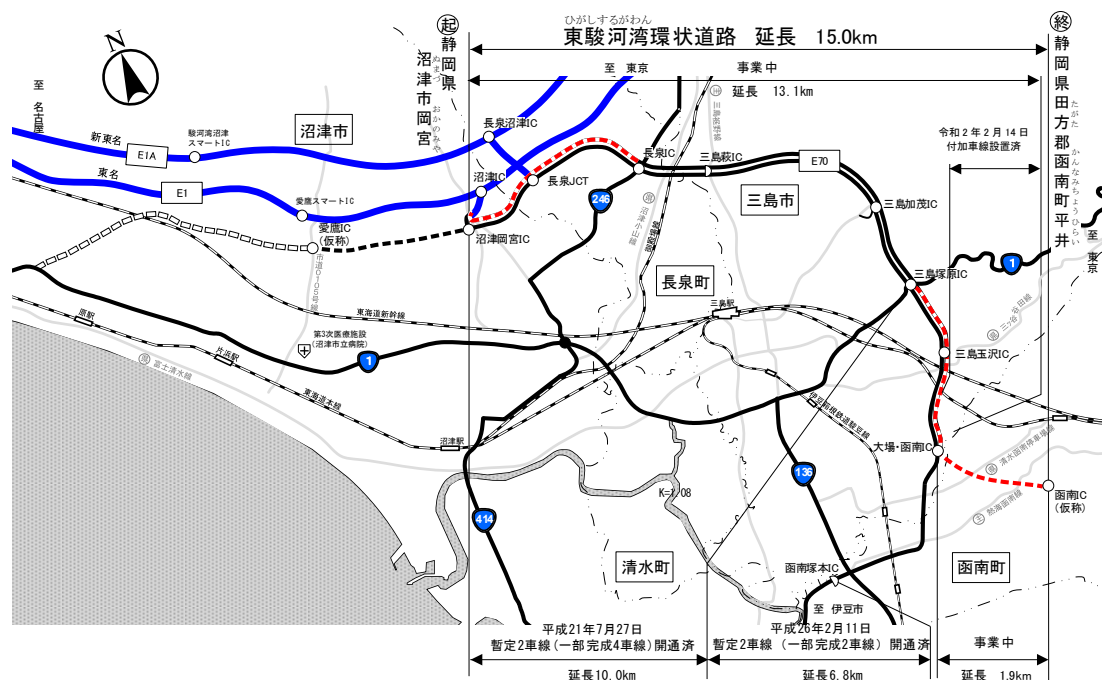
道路事業概要図



ひがしするがわんかんじょう
国道1号 東駿河湾環状道路

ひがしするがわんかんじょう い ず じゅうかん ぬまづおかのみや たがた
東駿河湾環状道路は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、沼津岡宮ICを起点とし、田方郡
函南町平井に至る延長15.0kmの自動車専用道路です。

ぬまづ みしま
沼津・三島市街地における交通渋滞の緩和、交通事故の削減をはじめ、
い ず
伊豆地域への玄関口として伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の
ひがしするがわんかんじょう
発展、活性化を支援する東駿河湾環状道路の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- 平成21年7月27日 ぬまづおかのみや みしまつかはら
沼津岡宮IC～三島塚原IC (延長10.0km)
暫定2車線 一部完成4車線開通
- 平成24年3月24日 みしまかも
三島加茂IC開通
- 平成24年4月14日 ながいずみ
長泉JCT供用 (新東名 (長泉沼津IC) と接続)
- 平成26年2月11日 みしまつかはら かんなみつかもと
三島塚原～函南塚本 (延長6.8km) 開通
- 令和2年2月14日 だいば かんなみ みしまたまざわ
大場・函南IC～三島玉沢IC間の上り坂区間 (延長約0.9km)
付加車線設置

【令和6年度の主な事業内容】

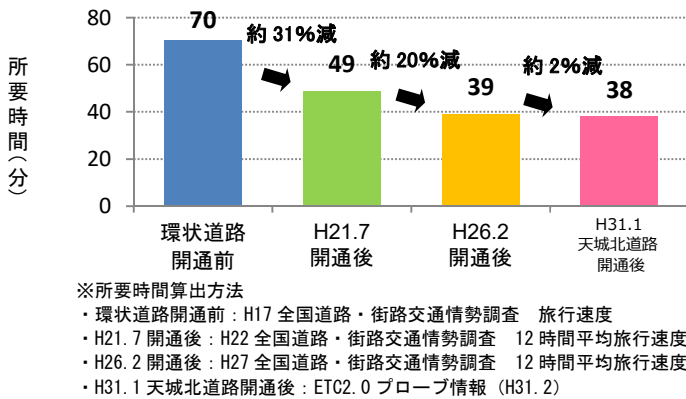
- だいば かんなみ かんなみ
大場・函南IC～函南IC (仮称) (延長1.9km)
一関係機関協議を推進

<整備効果>

■所要時間の短縮と渋滞緩和

ひがしするがわんかんじょう いず しゅぜんじ
東駿河湾環状道路が伊豆中央道・修善寺道路に接続し、広域な道路ネットワークが形成され、東名
高速道路 沼津ICから天城北道路 月ヶ瀬ICまでの所要時間が短縮しました。

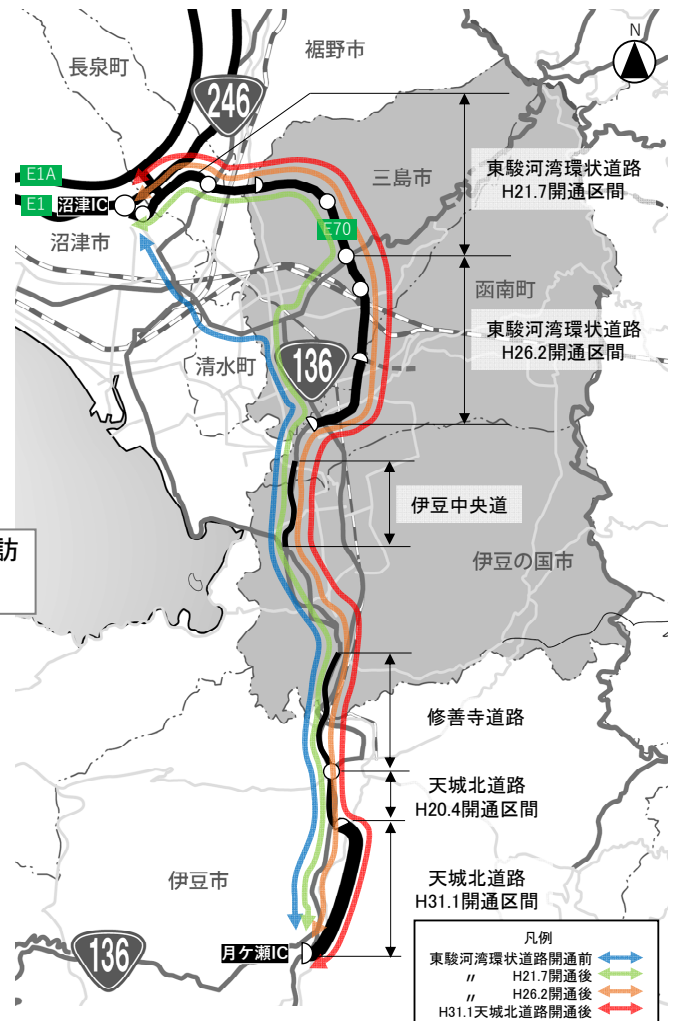
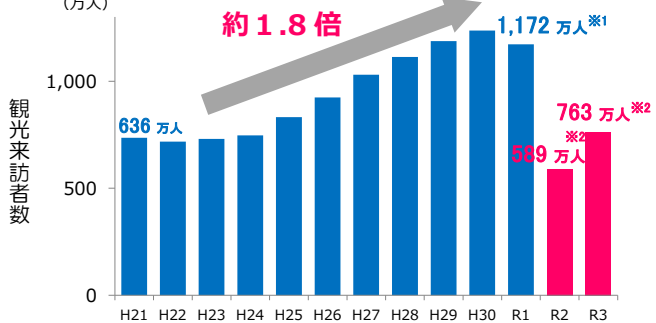
とうめいぬまづ あまぎきた
○東名沼津IC～天城北道路
つきがせ
月ヶ瀬ICの所要時間



■観光交流客数の増加

沿線市町(三島市・函南町・伊豆の国市)への観光来訪者数が平成21年度に比べて約1.8倍に増加しました。

○観光来訪者数
(三島市・函南町・伊豆の国市)
(万人)



ひがしするがわんかんじょう
国道1号 東駿河湾環状道路の状況写真

国道414号 河津下田道路（Ⅰ期）

河津下田道路（Ⅰ期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、下田市箕作を起点とし、下田市六丁目に至る延長5.7kmの自動車専用道路です。

下田市街地における観光交通による交通混雑の緩和、交通事故の削減をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（Ⅰ期）の整備を推進します。

【これまでの取組】

- ・平成10年4月
- ・平成26年11月25日
- ・平成27年2月21日
- ・平成28年8月～9月
- ・令和4年11月19日

新規事業化
都市計画決定
中心杭打ち式
設計説明会
起工式

【令和6年度の主な事業内容】

○下田北IC（仮称）～下田IC（仮称）（延長5.7km）

一関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、道路設計、橋梁設計、用地調査、用地買収、改良工を推進



国道414号 河津下田道路（Ⅱ期）

河津下田道路（Ⅱ期）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、河津町梨本を起点とし、下田市箕作に至る延長6.8kmの自動車専用道路です。

並行する国道の未改良区間の解消をはじめ、伊豆半島部への高速サービスを提供し、地域の発展、活性化を支援する河津下田道路（Ⅱ期）の整備を推進します。

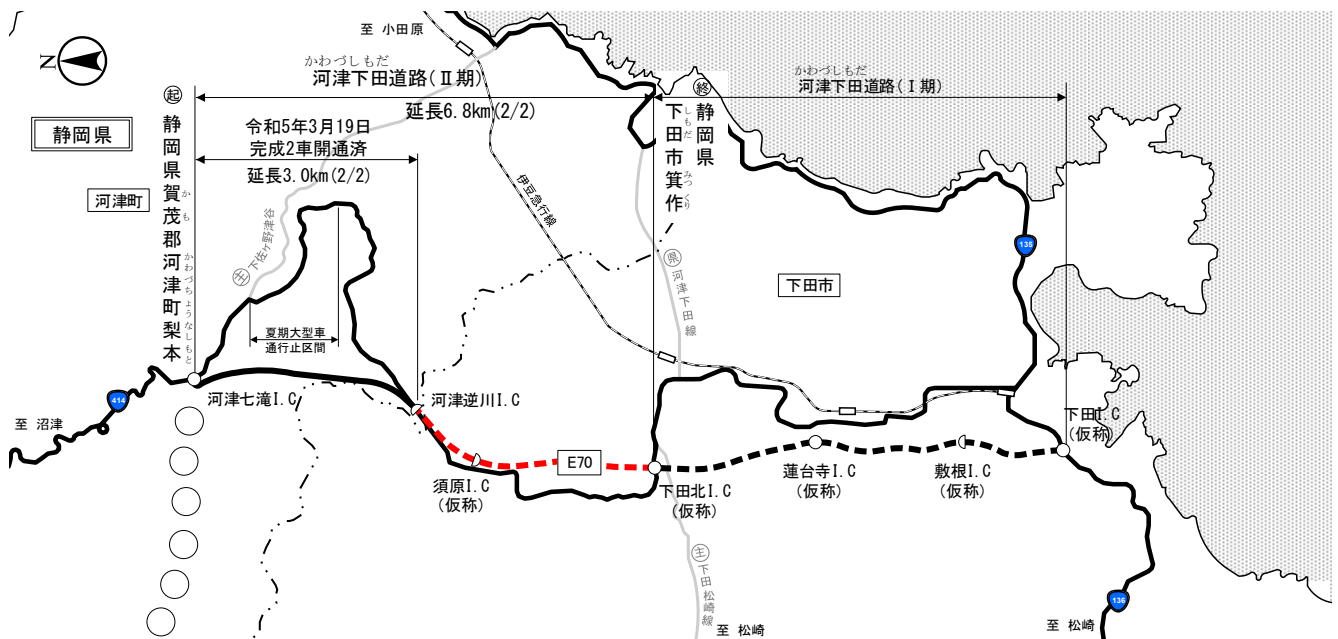
【これまでの取組】

- ・平成24年4月 新規事業化
- ・平成27年2月21日 起工式
- ・令和5年3月19日 河津七滝IC～河津逆川IC 開通式

【令和6年度の主な事業内容】

○河津逆川IC～下田北IC（仮称）（延長3.8km）

- －関係機関協議、環境調査、水文調査、用地買収、改良工、橋梁上部工、トンネル工を推進

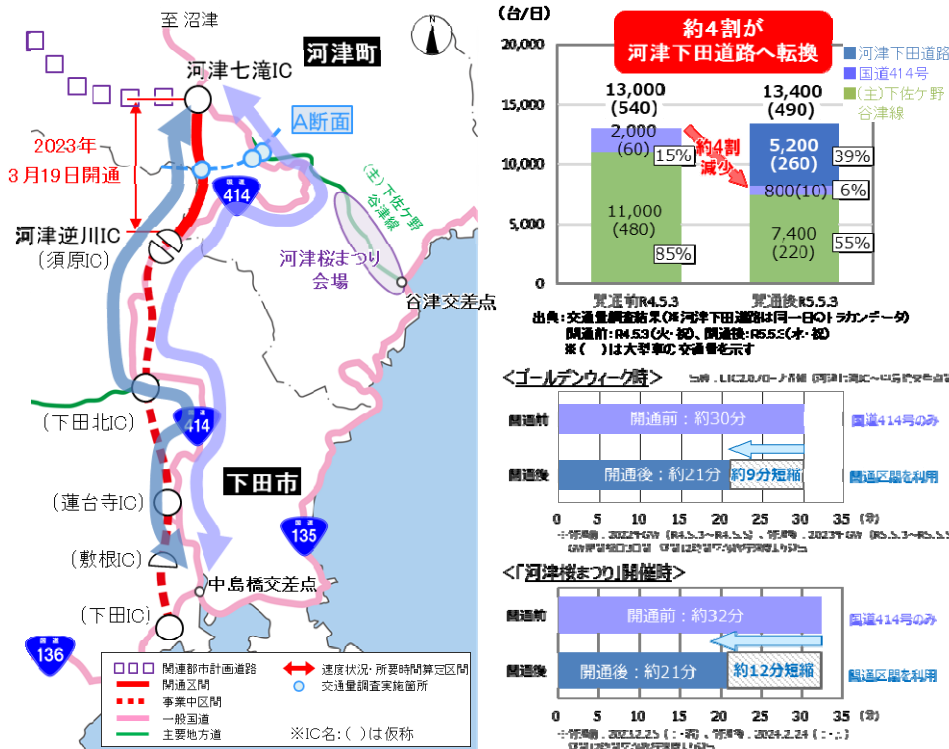


<整備効果>

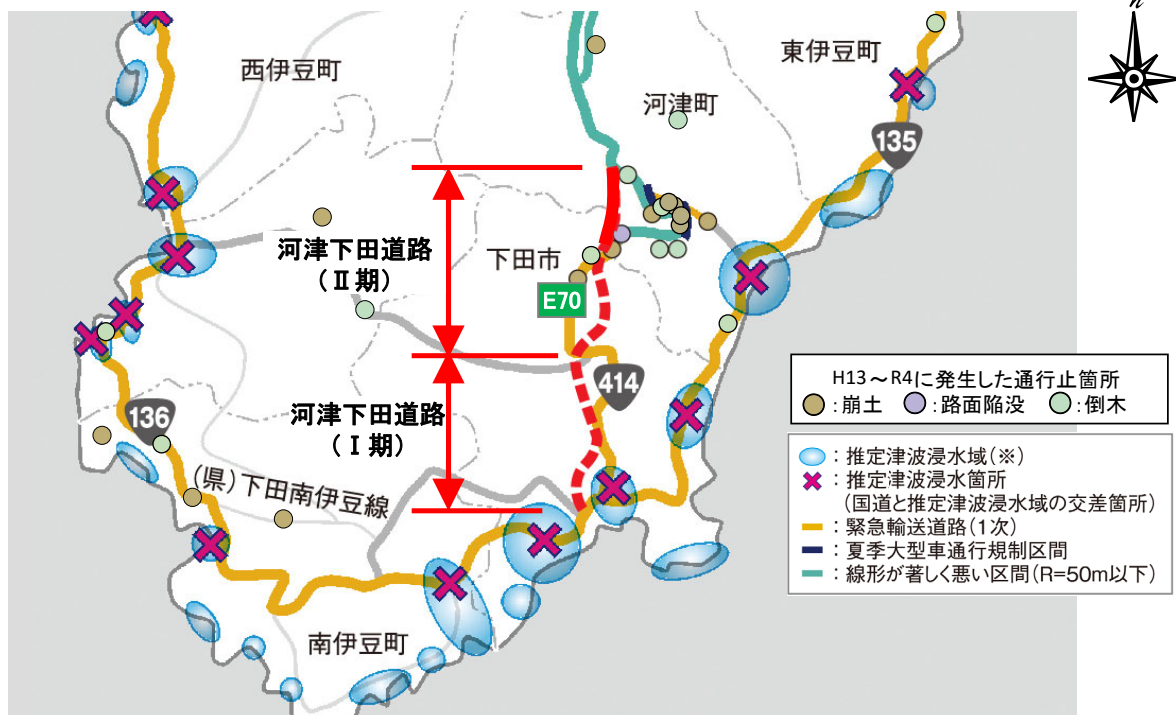
■所要時間の短縮

河津下田道路（Ⅱ期）河津七滝 IC～河津逆川 IC の開通により、並行する 414 号区間と比べ、下田市街地までの所要時間が短縮しました。

■開通区間の概要図と交通量観測位置図



南海トラフ巨大地震による津波浸水区域、線形不良区間を回避するルートを確認することで、災害時の安全性・信頼性が確保されます。



■救急医療活動の支援

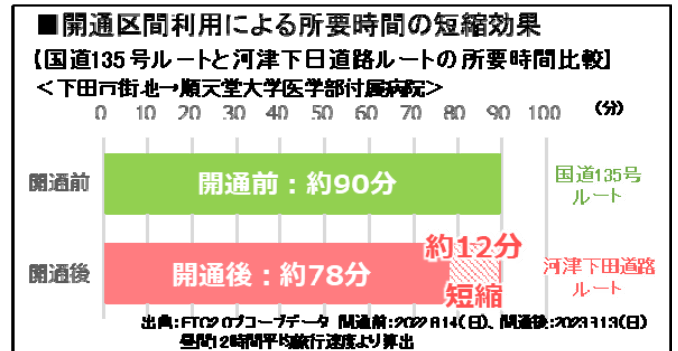
河津下田道路（Ⅱ期）河津七滝 IC～河津逆川 IC の開通により、第三次救急医療施設までの所要時間の短縮が短縮しました。また、伊豆縦貫自動車道の全線整備されることにより、第三次救急医療施設への 1 時間到達圏域が拡大され、救急医療活動を支援します。

○救命救急率の向上

【下田市から多量出血で搬送の例】

心臓停止や、呼吸停止、多量出血後は時間の経過とともに死亡率が上昇するため、一刻も早く救急病院に搬送する必要がある。

○河津七滝 IC～河津逆川 IC 開通効果



○第三次救急医療施設 1 時間到達圏の拡大



出典：R3年全国道路・街路交通情勢調査より各市役所・役場を起点として算出

■開通前後の救急搬送経路の変化



→ 国道135号ルート（開通前） → 河津下田道路ルート（開通後）

■国道414号河津下田道路の状況写真



い ず じ ゅ う か ん
伊豆縦貫自動車道

あ ま ぎ と う げ つ き が せ か や の
国道414号 天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）

あ ま ぎ と う げ い ず じ ゅ う か ん つ き が せ
天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）は、伊豆縦貫自動車道の一部を構成し、月ヶ瀬ICを起点とし、
茅野IC（仮称）に至る延長5.7kmの自動車専用道路です。

災害時にも機能する信頼性の高いネットワークの確保をはじめ、伊豆半
島部の高速ネットワークサービスを提供し、伊豆地域の救急医療活動や観
光振興を支援するあ ま ぎ と う げ 天城峠道路の整備を推進します。

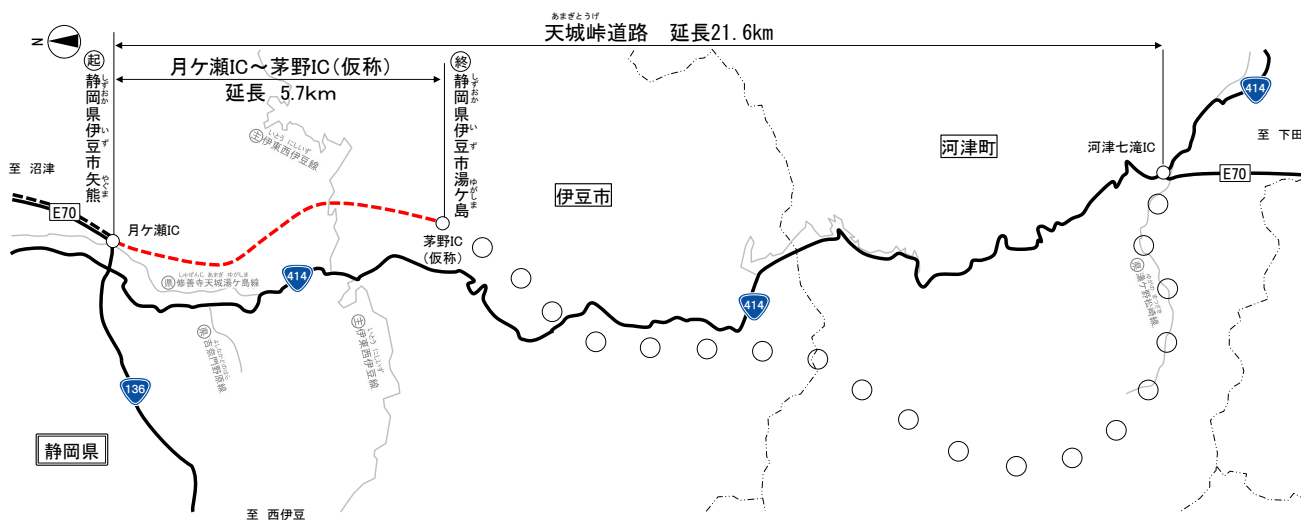
【これまでの開通経緯】

- ・ 令和5年1月31日 都市計画決定
- ・ 令和5年4月 新規事業化

【令和6年度の主な事業内容】

つ き が せ か や の
○月ヶ瀬IC～茅野IC（仮称）（延長5.7km）

－関係機関協議、地質調査、道路設計を推進



<整備効果>

■災害時にも機能する信頼性の高い道路ネットワークの確保

南海トラフ巨大地震等の発生後、伊豆地域の沿岸部では、津波による浸水が想定されています。

天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）の整備により、災害発生時に代替性が確保され、新東名、東名高速道路からの救命・救援ルートとして、伊豆半島の支援に寄与することが期待されます。

凡 例

- : 新規事業化区間
- : 開通済
- : 開通済(有料区間)
- : 事業中
- ○ ○ : 調査中
- : 水底最大津波高さ
- ✕ : 津波浸水箇所(国道と推定津波浸水域の交差箇所)
- : 推定津波浸水域

出典：静岡県第4次地震被害想定
(第二次報告)(平成25年11月)

影響度 ランク	被害 規模	緊急輸送が可能な レベルの復旧に 要する日数目安
AA	大	1週間以上
A	中	3日～1週間
B	小	当日～3日
C	なし	—

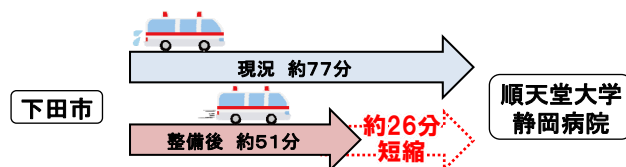
出典：内閣府南海トラフ巨大地震の
被害想定(第二次報告)
(平成25年3月)より作成

■救急医療施設等への速達性・確実性の向上

伊豆地域南部には、第三次救急医療施設（順天堂大学静岡病院）へ1時間以内に到達できない市町が多く存在しています。

天城峠道路（月ヶ瀬～茅野）を含めた伊豆縦貫自動車道の整備により、第三次救急医療施設への救急輸送1時間到達圏域が拡大し、下田市からの所要時間は約26分短縮されます。

○伊豆縦貫自動車道の整備による下田市から順天堂大学静岡病院への所要時間の変化



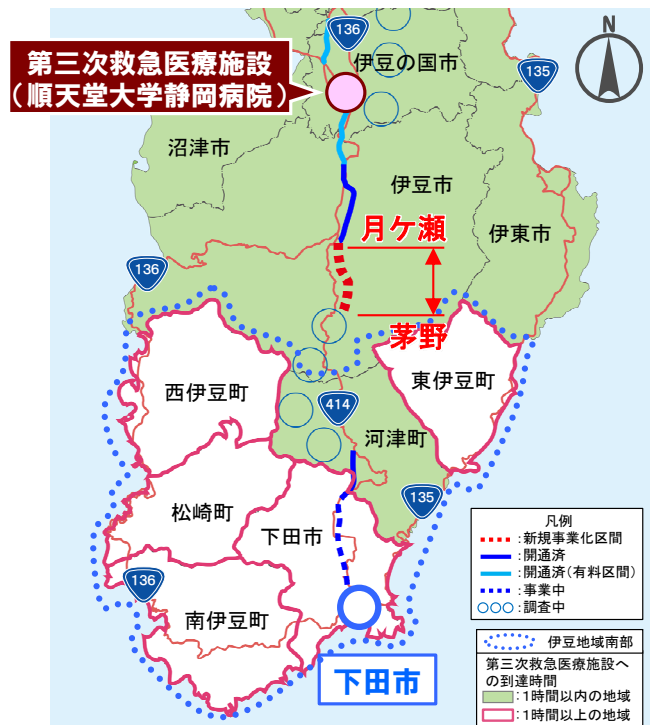
【現 況】ETC2.0プローブ情報(2022年9月平日7-19時間平均)

【整備後】未開通区間(河津下田道路(I・II期)、天城峠道路(月ヶ瀬～茅野))は設計速度80km/hとして算出

○南海トラフ巨大地震発生時の被害想定



○第三次救急医療施設への到達時間

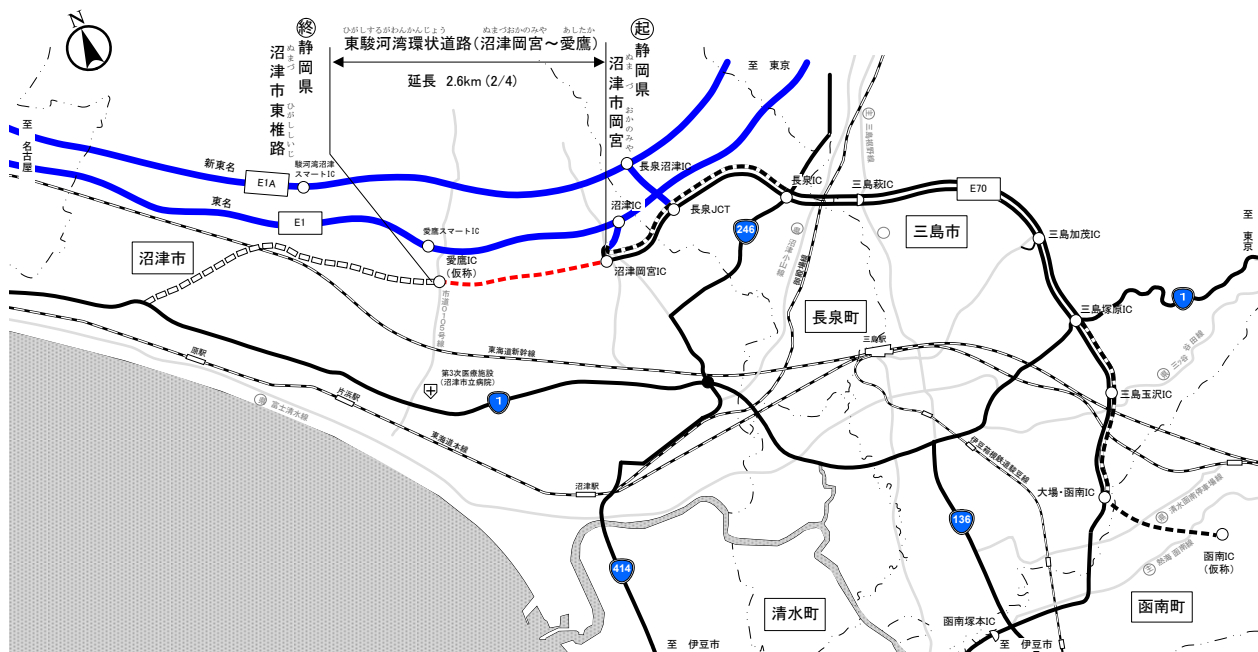


出典：平成27年全国道路道路・
街路交通情勢調査
旅行速度より算出

国道 1 号 ^{ひがしするがわんかん} 東駿河湾環状道路（^{ぬまづおかのみや} 沼津岡宮～^{あしたか} 愛鷹）

国道 1 号 ^{ひがしするがわんかん} 東駿河湾環状道路（^{ぬまづおかのみや} 沼津岡宮～^{あしたか} 愛鷹）は、沼津市岡宮を起点とし、同市東椎路に至る延長 2.6 km の道路です。

^{いずじゅうかん} 伊豆縦貫自動車道 ^{ひがしするがわんかんじょう} 東駿河湾環状道路と一体となって ^{ぬまづみしま} 沼津・三島都市圏の環状道路を形成し、現道 1 号等の慢性的な交通混雑の緩和及び南海トラフ巨大地震時における緊急輸送ネットワークの構築を図るため、^{ひがしするがわんかん} 東駿河湾環状道路（^{ぬまづおかのみや} 沼津岡宮～^{あしたか} 愛鷹）の整備を推進します。



【これまでの取組】

- ・ 昭和 62 年 10 月 都市計画決定
- ・ 平成 27 年 4 月 新規事業化
- ・ 平成 28 年 7 月 中心杭打ち
- ・ 平成 30 年 6 月 設計説明会

【令和 6 年度の主な事業内容】

○ ^{ぬまづおかのみや} 沼津岡宮 IC～^{あしたか} 愛鷹 IC（仮称）（延長 2.6km）

- － 関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、埋蔵文化財調査、用地調査、用地買収を推進

<整備効果>

■定時性・時間の短縮

沼津・三島都市圏を通過する国道1号の交通量の減少が見込まれるなど、都心部での慢性的な渋滞が緩和し、定時性や移動時間の短縮が図られ、住民生活や円滑な企業活動を支援します。

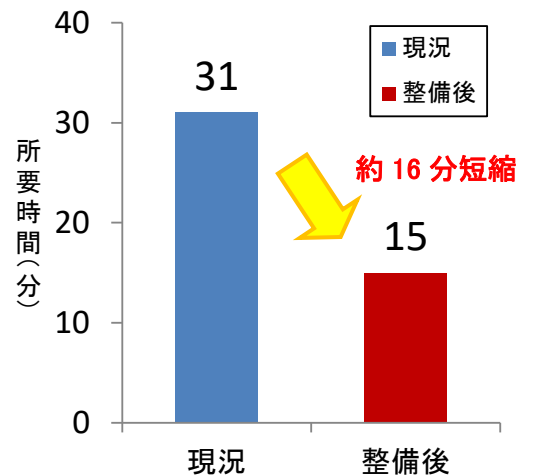
■災害に強い緊急輸送ネットワークの構築

東名、新東名、東駿河湾環状道路と有機的に連結されることで、第三次救急医療施設沼津市立病院へのアクセスルートが確保され、災害に強い緊急輸送ネットワークが構築されます。

○第三次救急医療施設までのアクセスルートの変化が想定される

○所要時間の短縮の予測

(三島塚原IC交差点～市立病院南交差点)



※出典 整備前：国道1号 ETC2.0 ブロープ情報 (R4.10 平日 12 時間平均)
整備後：東駿河湾環状道路 (沼津岡宮 IC～三島塚原 IC)
ETC2.0 ブロープ情報 (R4.10 平日 12 時間平均)
東駿河湾環状道路 (愛鷹 IC～沼津岡宮 IC) V=60km/h
沼津市道 V=40km/h で算定

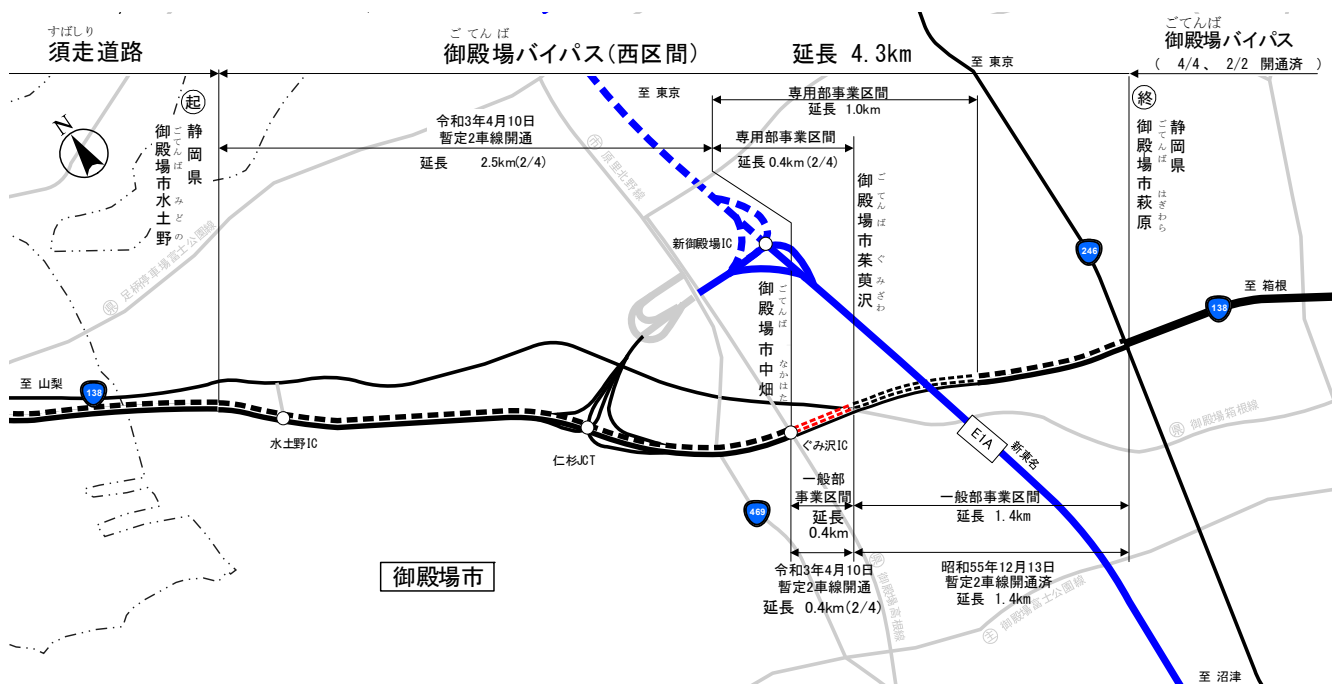


国道1号 東駿河湾環状道路 (沼津岡宮IC～愛鷹IC (仮称)) の状況写真

国道138号 御殿場バイパス（西区間）

御殿場バイパス（西区間）は御殿場市水土野を起点とし、同市萩原に至る延長4.3kmの道路です。

須走道路及び東富士五湖道路等と高速・広域ネットワークを形成することで、観光交通の集中による慢性的な交通混雑の緩和を図るため、御殿場バイパス（西区間）の整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- ・昭和55年12月13日 御殿場市ぐみ沢～御殿場市萩原（延長1.4km）暫定2車線開通
- ・平成11年4月 新規事業化
- ・令和3年4月10日 御殿場市水土野～御殿場市中畑（延長2.5km）暫定2車線開通

【令和6年度の主な事業内容】

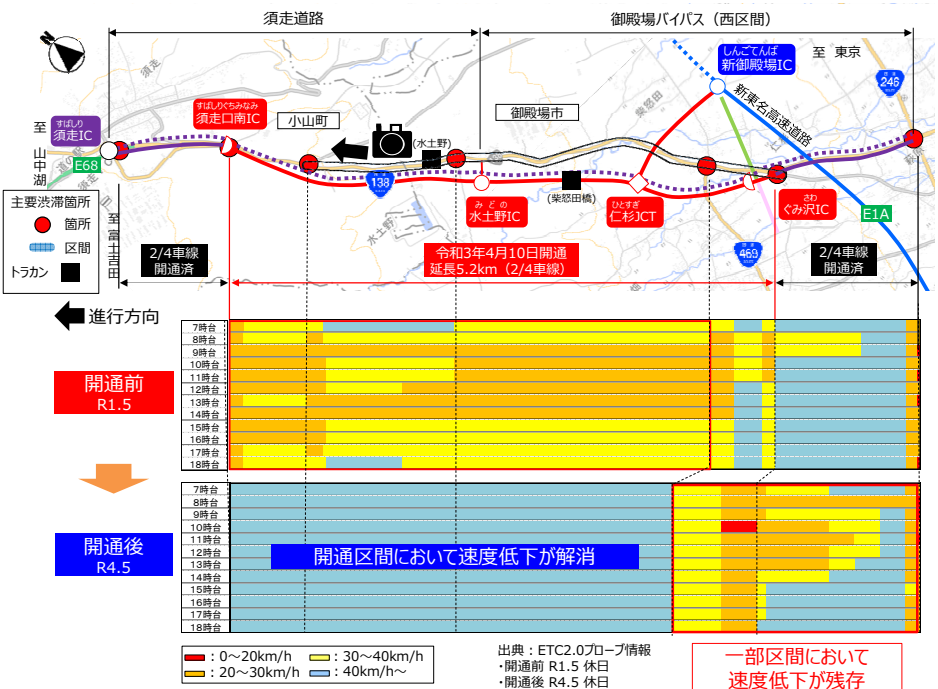
- 御殿場市中畑～御殿場市ぐみ沢（延長0.4km）
－関係機関協議を推進

<整備効果>

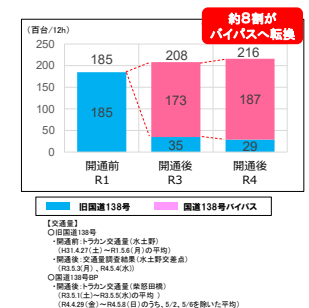
■交通渋滞の緩和

須走道路・御殿場バイパス（西区間）の開通により、並行する現道の交通量が転換し、顕著な課題となっている観光期（休日）における速度低下が緩和されました。

○開通後の旧国道138号の旅行速度の変化



○国道138号の利用状況



■旧国道138号の渋滞状況（📷）



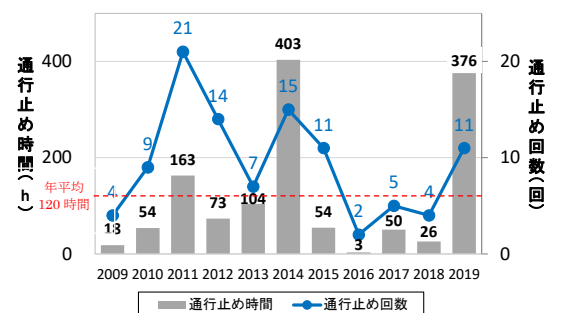
■災害に強い道路機能の強化

須走道路・御殿場バイパス（西区間）の整備により、中央自動車道の通行止め時に、東名・新東名高速道路へ迂回が可能になる等、防災ネットワークが強化されます。

○東名・中央道の通行止め時にも自動車専用道路ネットワークで迂回が可能



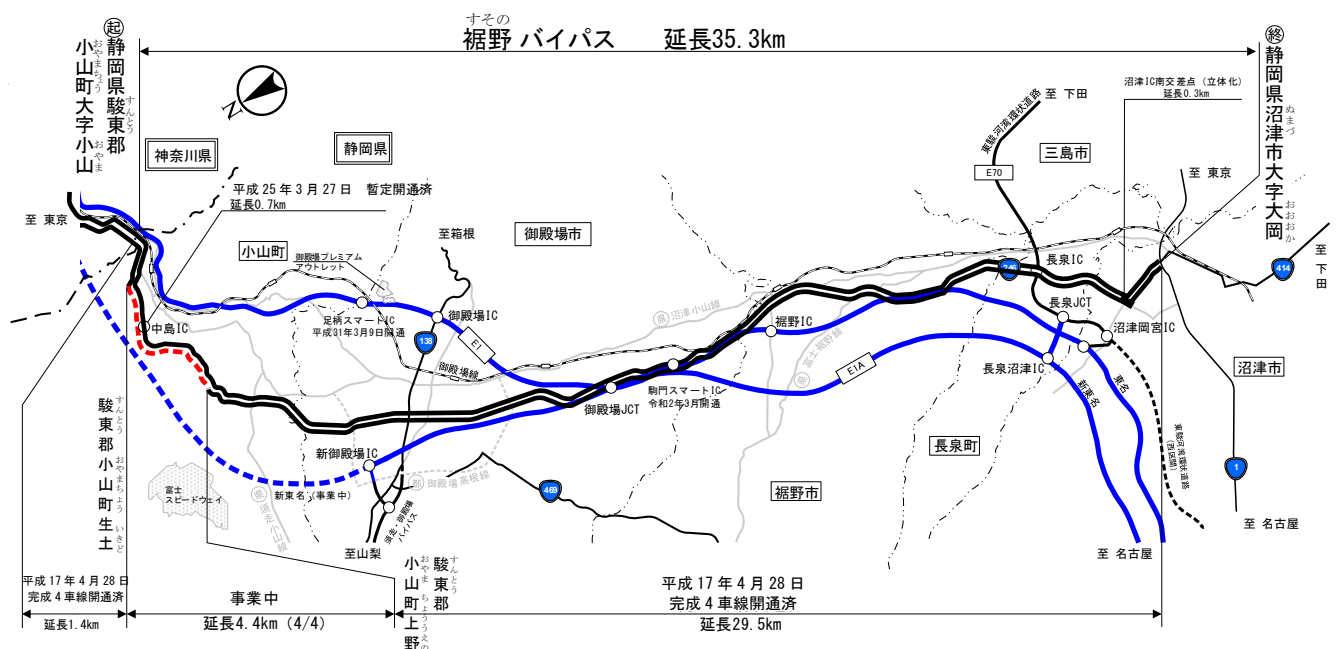
○中央自動車道の通行止め発生状況



国道246号 裾野バイパス

裾野バイパスは、駿東郡小山町小山を起点とし、沼津市大岡に至る延長35.3kmの道路です。

裾野、御殿場及び小山町市街地における交通混雑の緩和を図るとともに、首都圏と静岡県東部地域を結ぶ幹線道路としての機能を確保するため、裾野バイパスの整備を推進します。



【これまでの開通経緯】

- 平成17年4月28日 駿東郡小山町小山～駿東郡小山町生土（延長1.4km）
完成4車線開通
- 平成17年4月28日 駿東郡小山町上野～沼津市大岡（延長29.5km）
完成4車線開通
- 平成25年3月27日 中島IC 暫定開通

【令和6年度の主な事業内容】

○駿東郡小山町生土～駿東郡小山町上野（延長4.4km）

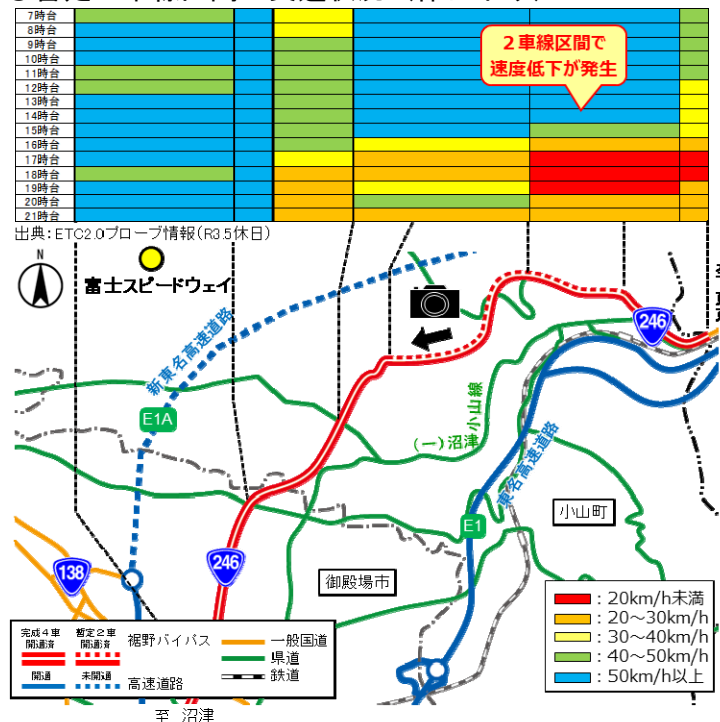
一用地調査、用地買収、関係機関協議、地質調査、環境調査、水文調査、道路設計を推進

<整備効果>

■交通渋滞の緩和

裾野バイパスの4車線整備により観光期（休日）における交通渋滞が緩和し、円滑な交通の流れの確保が期待されます。

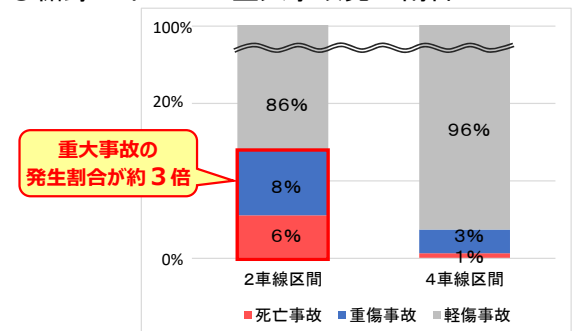
○暫定2車線区間の交通状況（休日下り）



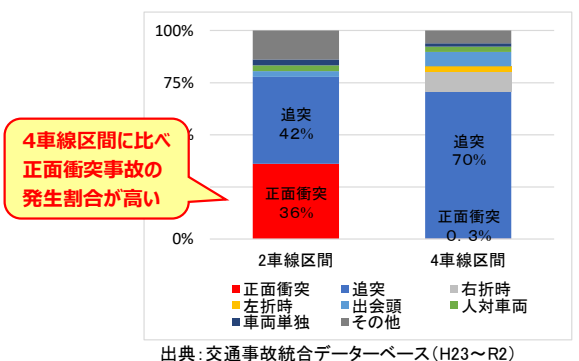
■交通事故の削減

裾野バイパス4車線整備により、重大事故の危険性が高い正面衝突事故の発生件数の減少が期待されます。

○裾野バイパスの重大事故発生割合



○裾野バイパスの交通事故類型（死亡、重傷、軽傷含む）



国道246号 裾野バイパス（中島IC付近）の状況写真

道路管理関係

■道路の維持管理

- ・ 日常の道路パトロールや路面清掃、除草など適切な道路の維持管理により「安全」で「安心」して通行できる道路を確保します。
- ・ 冬期には大雪に備え、他の道路管理者や警察などと連携し、道路交通網の混乱を最小限に抑えるよう効率的な除雪作業を行います。



除雪作業(国道1号)



タイヤチェック(国道138号)

■道路の老朽化対策

○メンテナンスサイクルの実施

- ・ 道路施設は5年に1度、定期的に近接目視点検を行います。
(橋梁、トンネル、函渠、横断歩道橋、情報板など)



橋梁点検車による点検



高所作業車によるトンネル点検

- ・自治体の職員が点検を適切に行えるようにするため、道路メンテナンス会議のなかで橋梁点検研修を開催する等、自治体支援を行います。



自治体向け橋梁点検研修(座学)



自治体向け橋梁点検研修(現地実習)

■道路の防災・震災対策

- 東海地震などに備え、橋の耐震対策を実施することで、地震発生時における被害を軽減し、円滑かつ迅速な応急活動を支援するための緊急輸送ネットワークの確保を図ります。

【橋梁の耐震補強実施事例】



施工前



完成

交通安全関係

- 「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～」に基づき、交通挙動分析や現地点検等により、的確な評価分析を行い、重点的かつ効果的に交通事故対策を進めます。
- 歩行者や自転車が安心・安全に通行できる歩道空間を確保します。
- 電線共同溝を整備し無電柱化することで、災害時における緊急輸送道路の確保並びに安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、良好な都市景観の形成に向けたまちづくりを支援します。
- 生活道路における事故削減を目指し、技術的支援をはじめとする地域との連携を推進します。

◆交通安全対策

【令和6年度の主な事業箇所】

○静岡県三島市山中新田 静岡1号交通安全対策事業（山中新田地区事故対策事業）

- ・道路構造を一定勾配とすることにより、交通事故の防止を図る。
 - －調査、工事を実施

○静岡県駿東郡小山町上野 静岡246号交通安全対策事業（小山上野地区視距改良）

- ・安心で安全に通行できるよう線形改良を実施し、交通事故の防止を図る。
 - －調査、工事を実施

○静岡県裾野市御宿 静岡246号交通安全対策事業（裾野地区歩道空間改善）

- ・横断歩道橋架け替えにより、歩行者が安全・安心に通行できる歩道空間の確保を行う。
 - －調査、工事を実施

◆電線共同溝

【令和6年度の主な事業箇所】

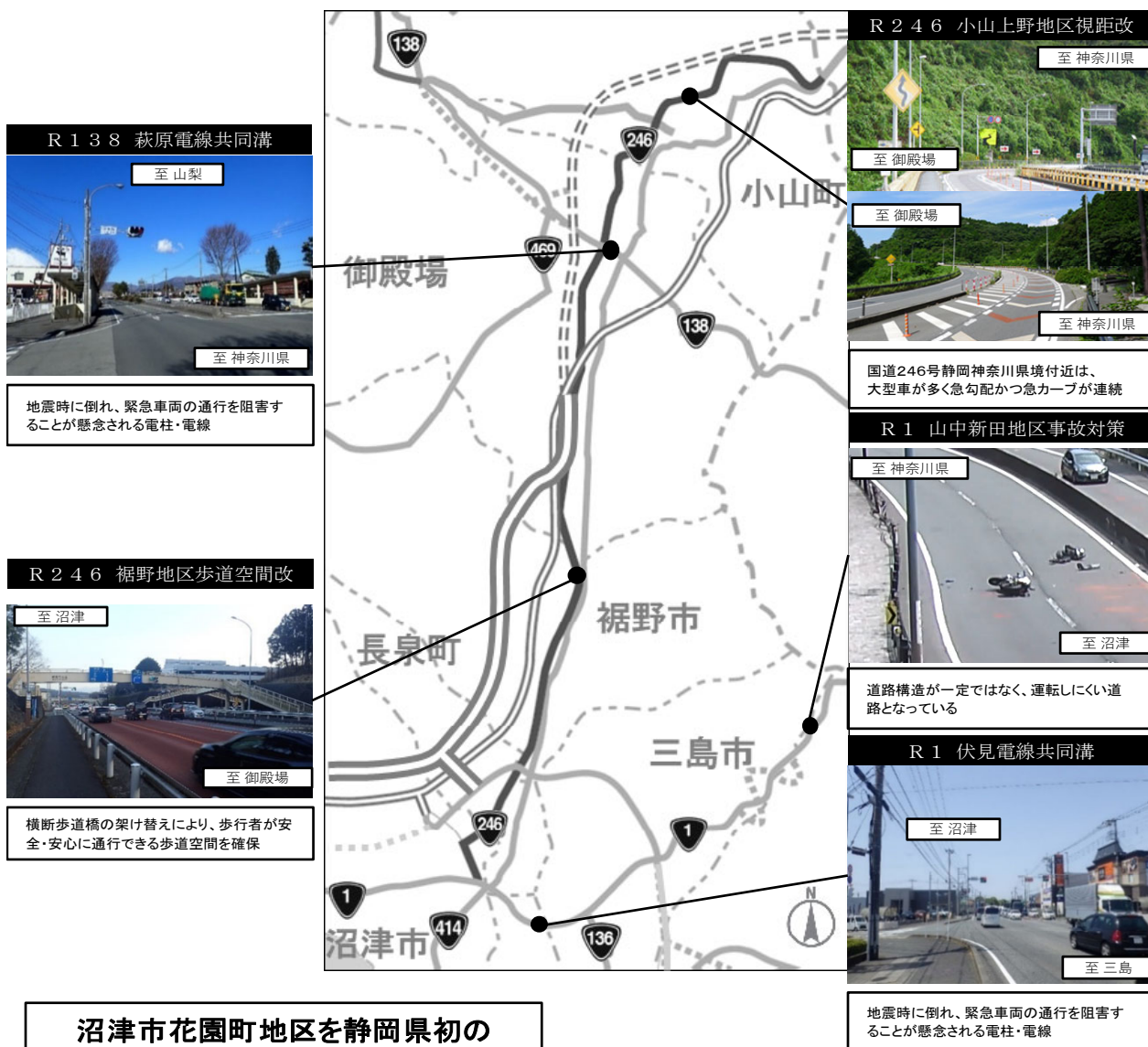
○静岡県駿東郡清水町玉川～八幡 静岡1号電線共同溝事業（伏見電線共同溝）

- ・無電柱化することにより、良好な景観形成や震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩行空間の確保を行う。
 - －調査設計等を実施

○静岡県御殿場市萩原～二枚橋 静岡138号電線共同溝事業（萩原電線共同溝）

- ・無電柱化することにより、良好な景観形成や震災時における緊急輸送道路の確保、安全で快適な歩行空間の確保を行う。
 - －調査設計を実施

交通安全対策等状況写真



沼津市花園町地区を静岡県初の 「ゾーン30プラス」として登録

「沼津市花園町地区」を静岡県初の「ゾーン30プラス」として令和3年に登録しました。

また、「静岡県事故ゼロプラン～事故危険区間重点解消作戦～」等により、重点的かつ効果的に事故重点対策を推進していきます。

生活道路の安全対策を支援するとともに、「ヒト中心のウォーカブルなまちづくり」につながる道路空間づくりを進めていきます。



ハンプ



路面標示

